

「日本一幸せを感じられる自治体を目指して」

石川県珠洲市長 泉谷 満寿裕

厳しい現状

現在、珠洲市の人口は約1万7千人。昭和29年に珠洲市が発足した当時の約3万8千人から半分以下に減ってしまった。能登半島の先端に位置し、県庁所在地である金沢市まで2時間ほどかかるという地理的なハンディや高等教育機関もないことから、若者は地元の高校を卒業すると故郷を離れ、そのまま都会で就職し帰ってこない。高齢化率が40%に達し、生まれてくる子どもの数も年間100人を割っている。

当然のことながら、人口が減ると経済が縮小し、さらに働く場所が減る。働く場所がないから若者は帰ってこない。悪循環に陥っている。

珠洲市の強みである「食」を活かす

いかにして、人口減少、少子高齢化が進む珠洲市を「活性化」させるか。企業誘致も容易ではない中、珠洲市の景気経済を活性化させることは、並大抵のことではない。

珠洲市の強みは何といても「食」である。海、山の豊富な食材と食文化。約3分の1の世帯が農業を営んでおり、蛸島漁港は県内でも有数の水揚げを誇っている。こうしたことから、珠洲市の強みである「食」を中心に、交流人口の拡大と農林水産業の振興を結びつけて活性化を図ることで、経済全体の浮揚につなげようとして取り組んでいる。

能登半島のまさに先端に位置する狼煙地区では、以前から在来種である大浜大豆を活用した豆腐や納豆の商品化に向けて取り組まれていたが、行政で施設を整備するとともに地域の方々が出資して株式会社を設立し、平成21年度に道の駅としてオープンした。昨年度は約5万人が訪れ、販売額は豆腐や野菜の直売などで4千万円を超えている。

また、平成22年度には、廃線になった駅舎を再開発し、バスターミナルと観光案内にくわえ物産販売の拠点として道の駅「すずなり」をオープンしたところ、市内の野菜や果物を使ったジャムやお菓子など新たな商品が続々と誕生するようになった。さらに、トビウオの焼き干しを製造販売する婦人会や地元の食材で郷土料理を提供するNPOによる食堂が現れ、民泊や民家レストランを始める人も増えるなど、コミュニティービジネスやスモールビジネスの起業が活発になってきている。

「世界農業遺産」を活かし地域をブランド化

また、珠洲市では、「自然と共生する珠洲市」として地域そのものをブランド化しようとして取り組んできた。平成18年度に市内の空き校舎を活用し、金沢大学と連携して開設した「里山里海自然学校」と、そこで展開している「里山マイスター養成講座」によって里山里海の保全に取り組むNPOが発足するとともに、新たに就農する若者も現れるなど様々な動きが生まれてきた。これまでのバイオマスメタン発酵処理施設や民間による30基もの風力発電にくわえ、平成24年度中には北陸電力によるメガソーラー発電も始まる。

こうした中、昨年6月、珠洲市を含む「能登の里山里海」が、佐渡とともに我が国で初めてとなる国連の「世界農業遺産」に認定された。里山里海が美しく豊かであることはもちろん、「揚げ浜式製塩」や「あえのこと」「祭り」など、里山里海とともに生きてきた生業や生活様式、伝統文化といった様々な要素が高く評価されたのである。

今後、生物多様性や里山里海の維持・保全に努めるとともに、この「世界農業遺産」を活用し、「自然と共生する珠洲市」としてより一層のブランド化を図っていきたいと考えている。「里山里海」や「食」、「伝統文化」など、あらゆる資源を活かすとともに「人」そのものを活かし、農林水産物の付加価値の向上や体験型観光、ヘルスツーリズムなど交流人口の拡大につなげ、さらなる活性化を進めていきたい。

安心して暮らせる活力ある珠洲市を築く

自治体として目指すべきは、安心して暮らせる地域にすることと、活力ある豊かな地域にすることに尽きると思う。活性化を図る一方で、人口減少、少子高齢化が進む現状にあっても、安心して暮らせる地域でなくてはならない。

珠洲市では、今年の東日本大震災を踏まえ、津波の一時避難場所や避難路の見直しと整備に取り組むとともに、地域ごとの新たな津波ハザードマップを作成した。さらに、この冬から避難路の除雪についても除雪計画に盛り込んだ。今後、一人暮らしの高齢者世帯を中心に、災害時の援護のみならず、除雪など地域で支え合う「しくみ」づくりを進めていきたいと考えている。

私は、珠洲市の潜在力は非常に高いと信じている。食や自然もさることながら、何よりも「人」が良い。あとは、考え方である。市民が想いを共有し、一体感をもって取り組めば、安心して暮らせる活力ある珠洲市を実現できると考えている。そして、この安心して暮らせる活力ある珠洲市の実現に向けた取り組みを通して、日本一幸せを感じられる自治体にできると確信している。

*市の紹介というよりは、市政にかける私自身の想いを書かせていただきました。

「です。ます。調」になっていませんが、このまま掲載いただければ幸いです。

石川県珠洲市長 泉谷 満寿裕